

帰国・外国人児童生徒等教育の充実に 皆様のお力を！

日本語指導 協力者募集



本道における帰国・外国人児童生徒等教育の現状と課題

【現状】

- 北海道の小・中・義務教育学校には、海外から帰国した子どもや外国人の子どもが約100名在籍しています。
- その数は年々増加し、母語が多言語化、居住する地域が散在化する傾向がみられます。

～本道の小・中学校では、多様な国籍の子どもたちが学んでいます。～

・アメリカ ・フランス ・スペイン ・ロシア ・中国 ・韓国 ・モンゴル ・スリランカ ・ベトナム
・インドネシア ・フィリピン ・パキスタン ・エチオピア ・ネパール ・アフガニスタン など

【日本語指導が必要な子どもが在籍する学校の課題】

- 先生が母語を話せず、子どもや保護者との意思疎通に困っています。
- 子どもの母国の文化や宗教的な背景が多様なため、どのような配慮が必要か分かりません。
- 子どもが母国でどのような教育を受けてきたのか分からないので、指導方法に悩んでいます。

子どもたちの生き生きとした日本での学校生活に向けて、御協力ください！

北海道教育委員会では、日本語指導が必要な子どもが在籍する学校に対し、有識者を派遣する訪問支援を実施しています。

この度、訪問支援の充実を図るため、有識者と一緒に各学校を訪問し、日本語や母語の支援について助言をいただける協力者を募集します。皆様の御協力をお願いいたします。

<応募要件>

- ①青年海外協力隊や日本語パートナーズ、日本人学校での勤務経験のある方
- ②海外で豊富な活動経験のある方
- ③大学等で日本語指導について勉強している方

気軽にご相談
ください！

《各学校において、次のような支援をお願いします。》

- 母国の生活様式や宗教など、文化的な背景を理解するための助言
- 外国人とコミュニケーションを図る際の留意点についての助言
- 子どもや保護者に対する母語による相談支援 など



※ 支援が可能な場合、訪問校の状況、訪問日時、支援内容等を打合せさせていただきます。(訪問に際しては交通費を支給)

【帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業運営協議会事務局】

北海道教育庁学校教育課 義務教育グループ

- 住所 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館8階
- 電話 011-204-5963 ■Fax 011-232-1072
- メール kyoiku.shochu1@pref.hokkaido.lg.jp